



OKAYAMA
UNIVERSITY

肝がん・重度肝硬変医療費助成事業 を患者様にご案内する具体策 ～事務職が行う一連の手続き～



岡山県肝炎相談センター 亀川 千尋、荻野 智美

岡山大学病院 新医療研究開発センター 難波志穂子



岡山大学病院
OKAYAMA UNIVERSITY HOSPITAL

1870

発表に関連し、開示すべき
COI関係にある企業などはありません。

ご紹介する内容

- ◆ 院内での体制整備
- ◆ 実施手順
- ◆ 申請できなかった人の背景
- ◆ 使用しているツール
- ◆ 「困った」場面



岡山大学病院 肝疾患サポートチーム

院内連携と体制整備

電子カルテから入院患者で制度利用対象候補者抽出

主治医、病棟師長に確認の上、肝炎相談センター職員（肝炎医療CO）が病室に訪問しパイロット面談

関連部署

- ・ 外来会計担当
- ・ 入院会計担当
- ・ 収入担当

医事課内での業務分担（窓口対応、医療記録票作成等）、業務フローを検討

他医療機関の情報入手（岡山県肝炎医療従事者研修会、肝炎情報センター主催のブロック会議）

診療情報管理士に依頼し、指定薬剤を利用して入院中に会えなかった患者や外来通院患者にも運用拡大

実施手順

肝疾患で入院予定患者の
1週間のリストを作成

リスト

- ・入院日
- ・ID・氏名
- ・病名

確認事項

- ・病名
- ・入院目的
- ・HBs抗原、HCV抗体
- ・何回目の入院
- ・治療内容
- ・使用薬剤



カルテで病名・入院回数・
治療内容を確認
医事画面で階層区分を確認

階層区分

高額療養費
限度額
(年齢や所得により
異なる)



病室にて制度の案内を行う



就労状況について確認する

- ・医療記録票の作成を外来係または入院係に依頼
- ・医師に臨床調査個人票を依頼

訪問方法

< 診療録からの事前確認 >

- ・ 訪問日の治療状況（処置）
- ・ 性格
- ・ 家庭環境
- ・ 生活環境
- ・ 体調

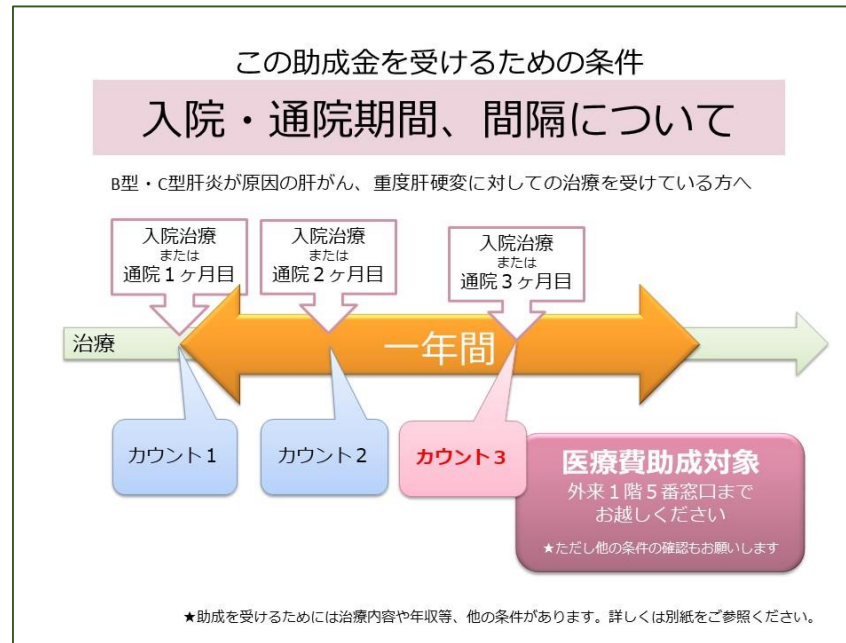
< 訪問方法 >

- ・ 肝炎相談センター職員2名
- ・ 患者2~3人/日
- ・ 午後 10~30分/人
- ・ 大部屋
- ・ 訪問聞き取り項目
持参し聴取

訪問聞き取り項目

- ・ 記録の同意
- ・ 職種/勤務形態

訪問時に患者にお渡しするリーフレット



当院自作（開始当初 2021年）

厚生労働省

B型・C型肝炎ウイルスが原因の肝がん・重度肝硬変の医療費は、助成が受けられます。

治療3ヶ月目から 入院も 通院も **自己負担 月1万円**

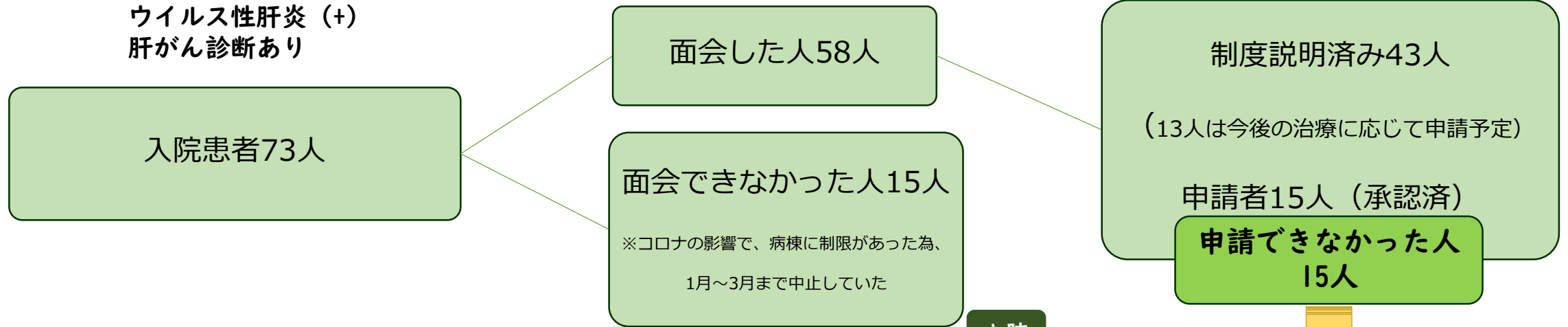
医療費の助成には下記の条件があります

- 条件1** 肝がん・重度肝硬変で入院又は通院
B型・C型肝炎ウイルスが原因の肝がん、重度肝硬変と診断され、入院治療又は通院治療を受けており、年総額370万円以下であることが条件となります。入院又は通院を主とする。まずお住まいの都道府県又は医療機関の窓口などにお問い合わせください。また、医療費の助成を受ける際に必要となる「医療記録簿」を医療機関に記載してもらってください。
※ 減額（分子標的薬を用いた化学療法）と「肝動注化学療法」に係る医療費が対象です。
- 条件2** 一定額以上を窓口で負担
入院又は通院による医療費の自己負担額が高額療養費の基準額を超える必要があります。
- 条件3** 参加者証の取得
条件1.2を満たした月が、過去12月で2月となった場合、指定医療機関（入院又は通院している医療機関が、指定医療機関に指定されていない場合は、都道府県に相談してください）に「医療費個人票」を記載してもらい、「医療記録簿」の写し等を添付し、都道府県に「参加者証」の交付を申請してください。
- 条件4** 医療費の助成
条件1~3を満たした上で、過去12月で3月以降となる高額療養費の基準額を超える入院医療費又は通院医療費を指定医療機関で受けた場合、医療費の助成を受けることができます。

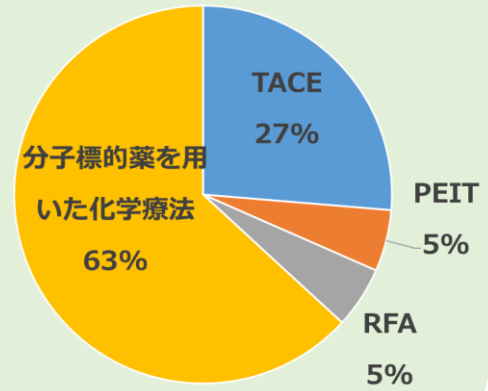
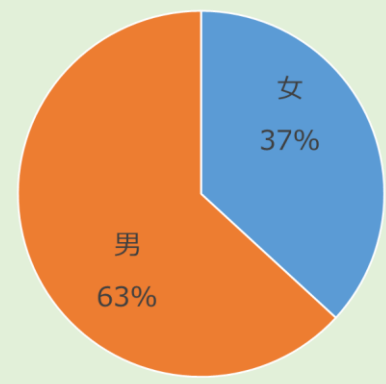
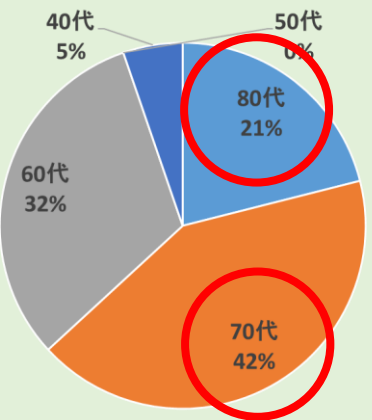
申請については都道府県、医療機関にご相談ください

制度のご案内し始めた当初

2021年9月～2022年3月末の集計



制度利用者背景



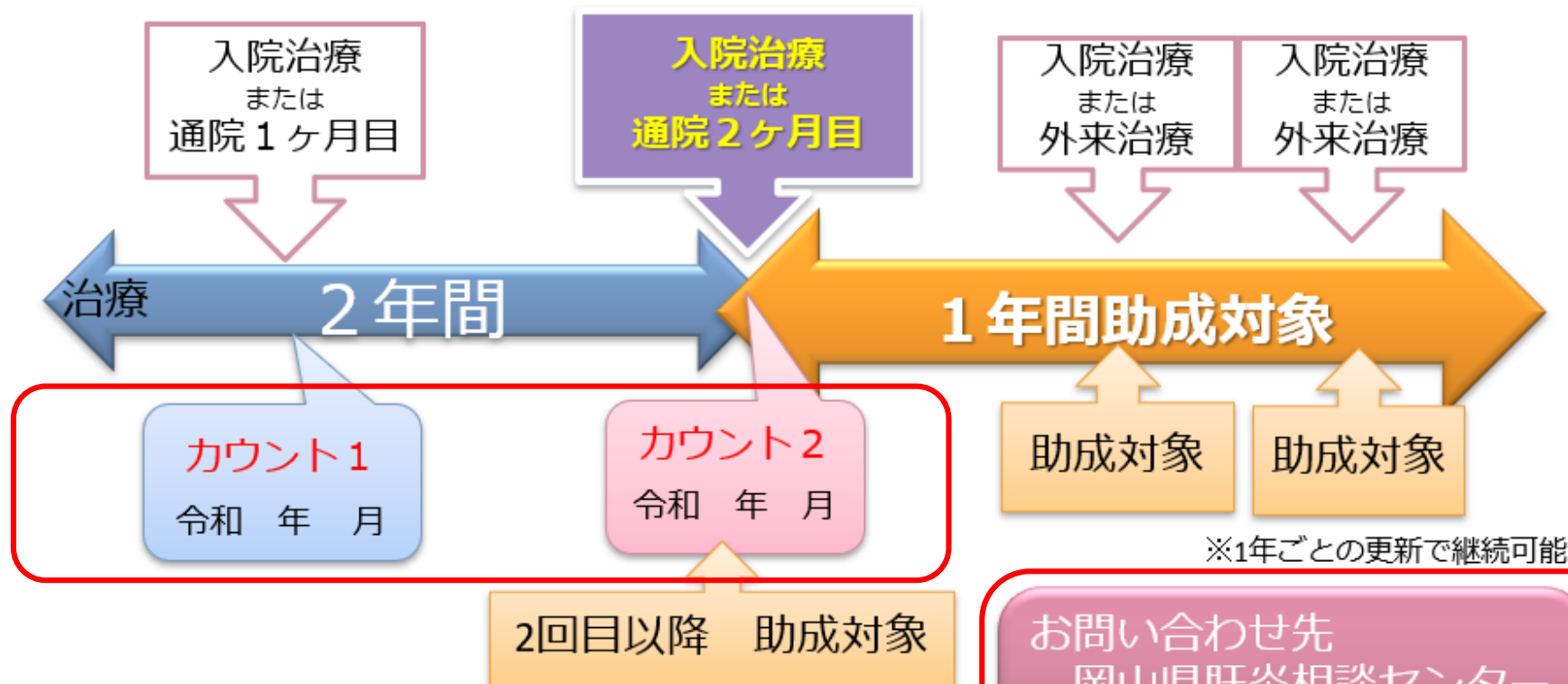
入院	件
・体調が良くなかつたため	1
・手続きにいくのがめんどくさいと断られたため	1
・所得区分ではないため	8
・肝炎ということを知っていない。	1
・入院の場合の自己負担限度額が24600円又は15000円の患者の場合、申請手続きに必要な臨床個人調査票の料金が3300円かかるので、あまりメリットがないため	1
・自己負担限度額を超えていないため	3
外来	件
・自己負担限度額を超えていないため	3
・外来での自己負担限度額が8000円の患者の場合、メリットがないため (入院があれば案内する)	1

この助成金を受けるための条件

※令和6年4月以降

入院・通院期間、間隔について

B型・C型肝炎が原因の肝がん、重度肝硬変に対しての治療を受けている方へ



- ★助成を受けるためには治療内容や年収等、他の条件があります。
- ★外来受診時、検査のみで治療がない場合は助成対象外になります。

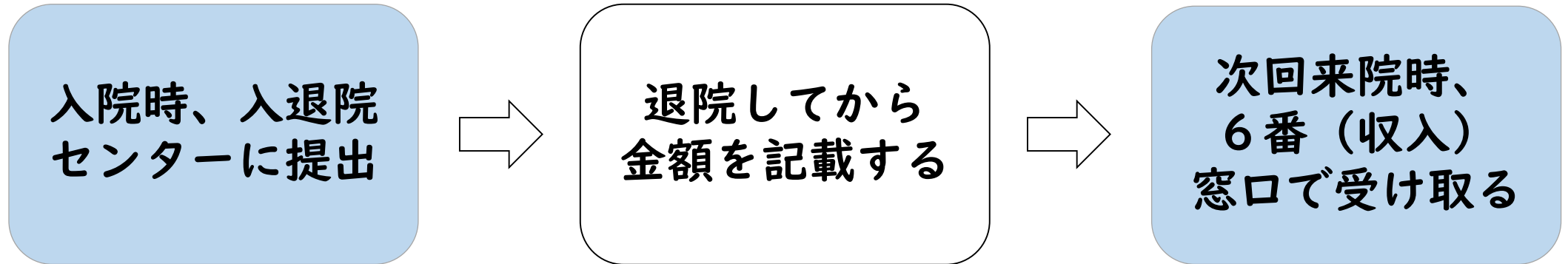
(詳しくは別紙をご参照ください)

お問い合わせ先
岡山県肝炎相談センター
(岡山大学病院外来棟2階)
086-235-6851

肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業 医療記録票の使い方

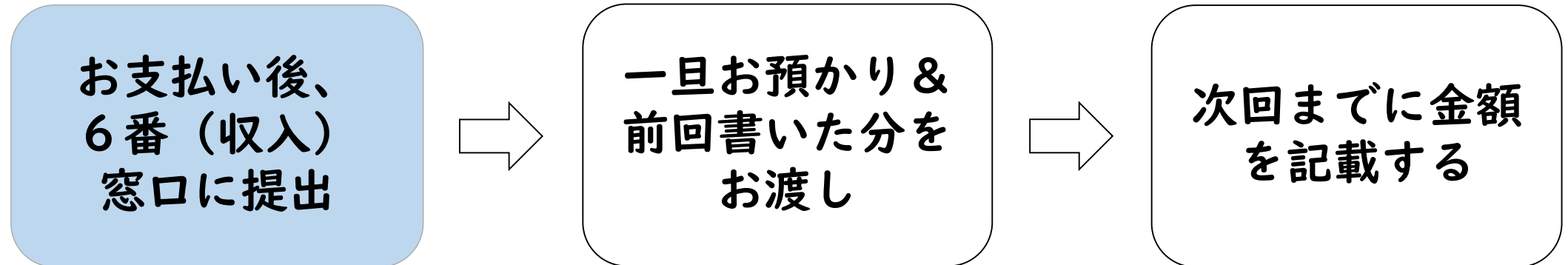
(色分け 患者さん：■・岡大病院：□)

●入院の場合



●外来受診の場合

※初めて医療記録票を提出する場合は、前回の分がないため対応が異なります。



資料3

カウント2が月末ギリギリの場合

『審査会に間に合わず』

『入院した月を適応月にしてもらう必要性』

があるため、県に事前連絡をしておく、償還払いになるかどうかのギリギリは注意！

申請した月からスタートになるため、
ご本人にしっかり理解してもらうことが重要

A様

これからの申請は以下のようなになるので、ご参考になさってください。

3月6日までに

申請に行く。

申請書の申請日を
「2月28日」に！！

申請以降

県で審査。審査に通ったら… → 受給者証がお家に届く。

受給者証が届いたら

【岡大】来院時に持参

【保健所】2月入院費 払い戻し

*入院費の
領収書と診療明細書は
捨てずに保管して
おいてください

B様

これからの申請は以下のようなになるので、ご参考になさってください。

1月6日頃

申請に行く。

申請書の申請日を
「12月27日」に！！
&
福祉事務所窓口で、「12月中
入院して来れませんでした」
と一言お伝えください！！

申請以降

県で審査。審査に通ったら… → 受給者証がお家に届く。

受給者証が届いたら

【岡大】来院時に持参

【保健所】12月入院費 払い戻し

*入院費の
領収書と診療明細書は
捨てずに保管して
おいてください

資料4

肝がん・重度肝硬変の方 医療費の助成対象かもしれません

治療2月目から入院も通院も自己負担月1万円へ
1月あたり最大47,600円の医療費の助成が受けられます！*

条件1
B型・C型肝炎ウイルスが原因の「肝がん」や「重症肝硬変」の治療を受けている

条件2
過去2年間(24ヶ月)で、1年あたりの医療費の窓口負担高額の療養費の基準額を超える月2月以上ある場合

条件3
参加者証の取得
前記医療機関にて「臨床調査個人票」を記入してもらい、「医療記録票」の写し等を添付し、都道府県に「参加者証」の交付を申請してください。

※入院又は通院している医療機関が、前記医療機関に指定されていない場合は、都道府県に申請してください。

※1月分、後述の認定期間中の治療費が、自己負担額に上乗せされる場合があります。自己負担額が、前記の認定期間中の治療費に上乗せされる場合があります。

※2 認定期間中の治療費は、自己負担額に上乗せされません。

年収約370万円以下

※令和6年4月1日より申請しやすくなりました。
条件すべてに該当する方は、申請することができます。
詳しくはお住まいの都道府県、指定医療機関にお問い合わせください。



B型・C型肝炎ウイルスによる 肝がん・重度肝硬変の医療費助成制度の詳細

「参加者証」の申請に必要な書類一覧

必要書類	70歳未満	70歳以上 75歳未満	75歳以上
● 指定医療機関の医師の診断書	●	●	●
● 指定医療機関の臨床調査個人票の写し	●	●	●
● 指定医療機関の医療記録票の写し	●	●	●
● 指定医療機関の療養費通知書の写し	●	●	●
● 指定医療機関の医療費通知書の写し	●	●	●
● 指定医療機関の療養費通知書の写し	●	●	●
● 指定医療機関の療養費通知書の写し	●	●	●
● 指定医療機関の療養費通知書の写し	●	●	●
● 指定医療機関の療養費通知書の写し	●	●	●
● 指定医療機関の療養費通知書の写し	●	●	●
● 指定医療機関の療養費通知書の写し	●	●	●
● 指定医療機関の療養費通知書の写し	●	●	●
● 指定医療機関の療養費通知書の写し	●	●	●
● 指定医療機関の療養費通知書の写し	●	●	●

助成方法

- 指定医療機関の場合 医療記録票を添付してもらう
- その他の医療機関の場合 医療記録票を添付してもらうか、自分で書く
- 指定医療機関で受診し医療費にサインし、個人票を添付してもらう

申請方法

- 入院・通院で対象医療費を支払ったときは参加者証(医療記録票を添付)
- 入館の場合 指定医療機関窓口で医療記録票の写しを添付する
- 通院の場合 指定医療機関窓口で医療記録票の写しを添付する

よくあるご質問

Q どのような制度が設けられていますか？
肝がんの治療中であれば受けられるのですか？
B型・C型肝炎ウイルスに感染する肝がん、胆管がんが診断されている方で、年間の医療費が370万円以下であることなど、一定の条件を満たしている場合に申請を受けられることができます。

Q 医療記録票、臨床調査個人票及び同意書の記入方法を教えてください。
医師が記入し、臨床調査個人票は指定医療機関、医療記録票は指定医療機関、同意書は記入していただきます。指定医療機関以外で受診した場合は、ご自分で医療記録票を記入いただくことになります。

Q 助成を受けるためには、どこに何を申請すれば良いでしょうか？申請書や申請方法について教えてください。
申請を受けるためには、都道府県に申請書(申請書)を添付していただく必要があります。申請書は都道府県のホームページからダウンロードすることができます。申請書は都道府県のホームページからダウンロードすることができます。申請書は都道府県のホームページからダウンロードすることができます。

Q この制度は、現在、自分が受けている医療機関以外でも利用できますか？
この制度は、現在、自分が受けている医療機関以外でも利用することができます。対象の医療機関については、都道府県に問い合わせることができます。対象の医療機関については、都道府県に問い合わせることができます。

厚生労働省 肝がん

肝ナビ
肝がん・重症肝硬変の医療費助成制度

申請に必要な書類

◎全員 (病院側が用意して、お返しする)
・臨床調査個人票と同音書 ……文書料¥3,300 (更新時には不要)
・医療記録票の写し

○70歳未満の方
・被保険者証の写し
・限度額適用認定証等の写し
・申請者本人の住民票

○70歳以上75歳未満の方

所得区分	必要書類
一般の方	・被保険者証及び高齢受給者証の写し ・申請者及び世帯全員の住民税課税・非課税証明書類 ・申請者及び世帯全員の住民票
一般以外の方	・被保険者証及び高齢受給者証の写し ・限度額適用認定証等の写し ・申請者本人の住民票

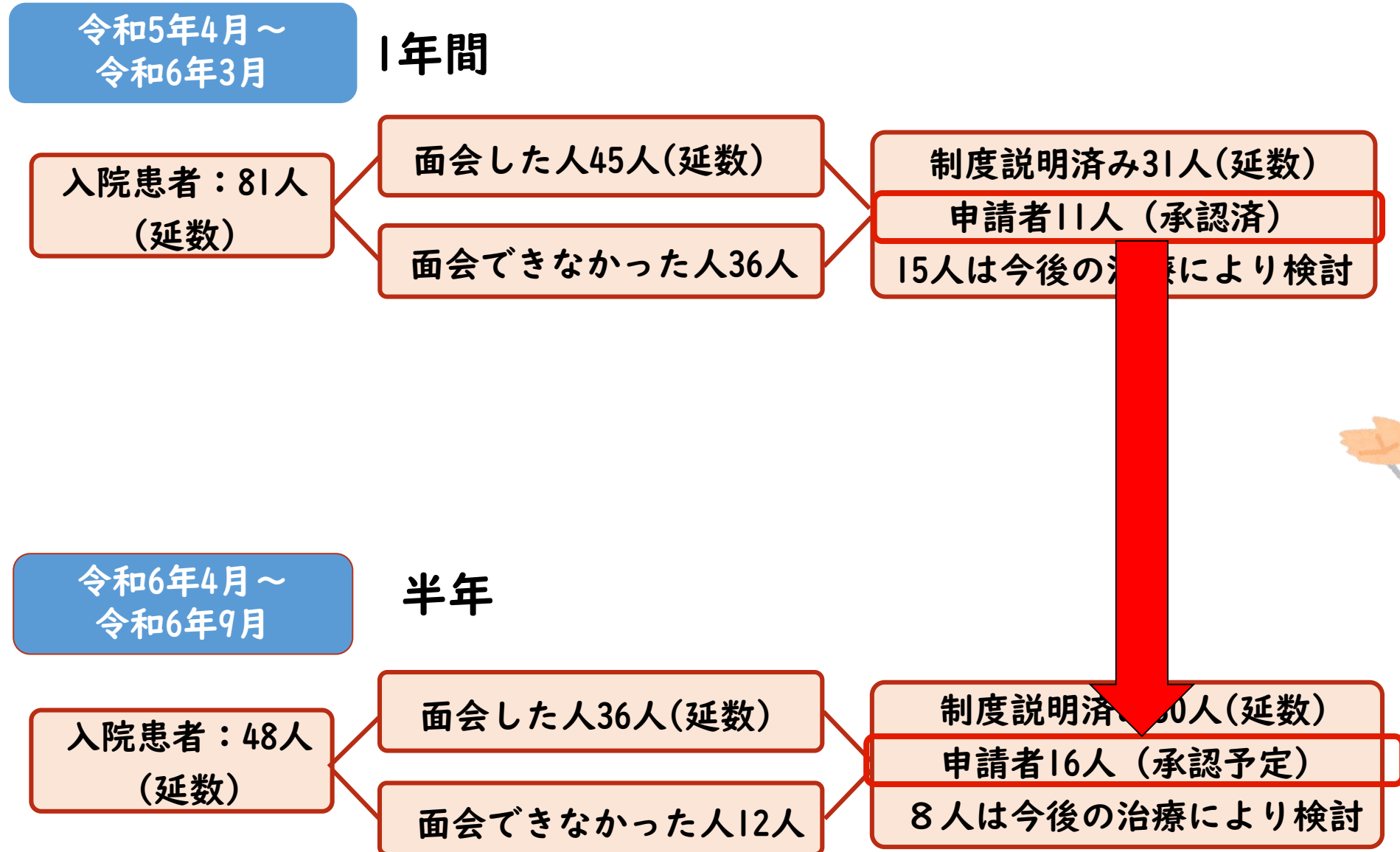
○75歳以上の方

所得区分	必要書類
一般の方	・後期高齢者医療被保険者証の写し ・申請者及び世帯全員の住民税課税・非課税証明書類 ・申請者及び世帯全員の住民票
一般以外の方	・後期高齢者医療被保険者証の写し ・限度額適用認定証等の写し ・申請者本人の住民票

★B型肝炎治療受給者証をお持ちの方は、
本制度申請月以前12月以内の「自己負担上限額管理票」のコピーが必要です

住民税課税・非課税証明書類 } 市役所へ
住民票 }
申請 → 質籍の保健所へ

要件緩和されてからの変化



肝疾患サポートチームでの情報共有

入院日	訪問日	年齢	病名	目的	ウイルス	対象	制度説明	カウント1	カウント2	肝炎受給者証有無	肝がん 重度 肝硬 変申 請	聞き取り内容	就労 支援	所得 区分
79	2月12日	2月17日	76	HCC	RFA	C	○	○	R7.1	R7.2		× 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業カウント2該当。制度説明のため訪問。最初は申請しようと思うとお話をされていたが、途中から「そんなに書類が必要なのか」「あちこち行かんといけんのだな」といい、「今回は1万円ほどしか戻らんし申請はしない」医師からも、今回の治療で病変部は治ったと聞いているため、近く入院はないだろうと思っている。		低2
80	2月14日	2月19日	87	HCC	TACE	C	○	簡単に	R7.2			× もう元気になったんよ。丁度面会のためにご家族が来たところだった。ご家族へも説明。次から助成してもらえるんだな。次回入院が決まればお電話くださいと伝えて終了した。		低2
81	2月19日	2月19日		HCC	TACE	C	○	○	R6.3	R7.2		○ 2024.3月、当院で化学療法導入後、津山中央病院で化学療法されたが、制度の申請がされていなかった。申請できるのですか？できるならとても助かります。お金がかかるので申請に前向き。月末の退院のため岡山県に連絡、退院後送球に申請することをお伝えした。2月26日必要書類を郵送した。		
82	2月13日			HCC	化学療法	C	○	簡単に		R7.2		○ ご家族に連絡したところ、申請しますと		
83	3月1日	3月5日	78	HCC	RFA	C	○	○	R6.3	R7.3		○ 体はだいぶ元気になりました。申請できるならしたいです。助かります。よく分からん時には奥さんをお願いしてやってもらおうと思います。		低2

月1回
定期開催

医師・事務・看護師
薬剤師・臨床検査技師
理学療法士・管理栄養士
診療情報管理士・
歯科衛生士



臨床調査個人票及び同意書（様式第7号）

(様式第7号) 臨床調査個人票及び同意書

フリガナ 患者氏名	性別 男・女	生年月日(年齢) 年 月 日 (歳)
郵便番号	住所	
診断年月 年 月	前医 あれば記載する	医療機関名 医師名
検査所見	<p>1. B型肝炎ウイルスマーカー(該当する項目にチェックを入れる)</p> <p><input type="checkbox"/> HBs抗原陽性 (検査日: 年 月 日)</p> <p>又は</p> <p><input type="checkbox"/> HBV-DNA陽性 (検査日: 年 月 日)</p> <p>又は</p> <p><input type="checkbox"/> HBs抗原消失例 (過去に6ヶ月以上間隔を空けて実施した連続する2回の測定結果でHBs抗原陽性である)</p> <p>1回目 HBs抗原陽性 (検査日: 年 月 日)</p> <p>2回目 HBs抗原陽性 (検査日: 年 月 日)</p> <p>2. C型肝炎ウイルスマーカー(該当する項目にチェックを入れる)</p> <p><input type="checkbox"/> HCV抗体陽性 (検査日: 年 月 日)</p> <p><input type="checkbox"/> HCV-RNA陽性 (検査日: 年 月 日)</p> <p>3. 血液検査 (検査日: 年 月 日)</p> <p>AST _____ U/L ALT _____ U/L 血小板 _____ /μL</p> <p>血清アルブミン _____ g/dL 血清総ビリルビン _____ mg/dL プロトロンビン時間 _____ %</p> <p>4. 身体所見(該当する項目にチェックを入れる) (検査日: 年 月 日)</p> <p>腹水 (□なし、□軽度、□中程度以上)</p> <p>肝臓腫大 (□なし、□軽度 (I、II)、□中程度 (III以上))</p>	
診断根拠	<p>【肝がんの場合】(該当する項目にチェックを入れる)</p> <p><input type="checkbox"/> 画像検査 (□ 造影CT、□ 造影MRI、□ 血管造影/造影下CT) (検査日: 年 月 日)</p> <p><input type="checkbox"/> 病理検査 (□ 切除標本、□ 腫瘍生検) (検査日: 年 月 日)</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>※その他の場合には、その具体的な内容を記載のうえ、根拠となる資料を添付すること。</p> <p>【重度肝硬変(非代償性肝硬変)の場合】(該当する項目にチェックを入れる)</p> <p><input type="checkbox"/> Child-Pugh score で7点以上 (検査日: 年 月 日)</p> <p><input type="checkbox"/> 別に定める「重度肝硬変(非代償性肝硬変)の医療行為」の治療歴を有する。 (当該医療行為の実施日: 年 月 日)</p>	
診断	<p>該当するすべての項目にチェックを入れる。</p> <p><input type="checkbox"/> 肝がん (B型肝炎ウイルスによる)</p> <p><input type="checkbox"/> 肝がん (C型肝炎ウイルスによる)</p> <p><input type="checkbox"/> 重度肝硬変(非代償性肝硬変) (B型肝炎ウイルスによる)</p> <p><input type="checkbox"/> 重度肝硬変(非代償性肝硬変) (C型肝炎ウイルスによる)</p>	
医療機関名及び所在地	記載年月日 年 月 日	
医師氏名	印	
同 意 書		
<p>厚生労働省の研究事業について説明を受け、本研究事業の趣旨を理解し、臨床データ(臨床調査個人票等)を提供し、活用されることに同意します。</p> <p>同意年月日 年 月 日</p> <p>患者氏名 (代捺印の場合に代捺印の氏名)</p>		

患者氏名・性別・生年月日・住所の部分は基本的には患者ご本人に記載依頼

ここから下は、医師に記載依頼

肝がんも肝硬変もある人は、『診断年月日』と『診断根拠』はどう書いたらいいですか？

この方は、元々肝硬変・肝がんが分かり、それから悪化して重度の肝硬変になりました。今回、食道静脈瘤破裂で治療します。



臨床調査個人票及び同意書（様式第7号）

HCV抗体 陽性 85歳 男性

<病歴>

2015年	肝がん診断	TACEを繰り返し実施
2023年1月	TACE	
2024年12月	肝硬変による食道静脈瘤破裂で入院	

← カウント 1回目

← カウント 2回目

岡山県にお問合せ

○診断年月日は発覚した日付を記載します。
先に発覚した病名の診断名を記載ください。
→今回の場合は、肝がん診断日

○診断根拠はどちらもチェックしてください



医療記録票（様式第13号）

院内の運用上、医療記録票は、その日のうちに作成することはできない。

後日、郵送でやりとりすることになる。
新規申請する人は、早めに郵送する。
（※事前に郵送料をもらっている）

申請してすでに参加中の人は、「次、外来に来た時に受け取る」と言われることもあり、忘れてもらわずに帰ってしまう人がいる。



こちらの記載は、医事課担当の外来係・入院係の方に依頼しており、助けられています

まとめ

- ✓ 各部署の役割分担と手順を明確化が重要
- ✓ 事務・看護師（肝炎医療Co）が部屋に訪問するという形にしたことで、患者ニーズを詳細に把握できた。

今後の検討課題

- ✓ 面談を行う中で、病状の理解度によっては制度の利用の理解も得られないケースや、病状によっては説明そのものが困難なケースも散見され、主治医の協力なども得ながら十分な説明ができる環境を作っていく必要がある。
- ✓ 本制度の条件について、複数の医療機関で治療を受ける患者もいるため、医療機関の連携も検討しなければならない。